

# CustomHardwareMonitorドキュメント

CustomHardwareMonitorをダウンロードいただきありがとうございます。

CustomHardwareMonitorの使い方を説明します

## 1. インストール方法

CustomHardwareMonitor.msiをダブルクリックし、インストーラを開いてください

以下のようなファイル



指示に従いインストールしてください

## 2. 基本操作

スタートアップからCustomHardwareMonitorをクリックすることで起動することができます。

(以下のような画像)



CustomHardwareMonitorを起動すると以下のようなアニメーションが表示され起動します。10秒ほど待つと起動します。



読み込みが終了すると以下のようなメインWindowが表示します。

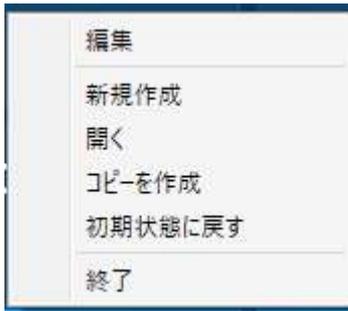


また、起動時にアップデートを確認しますので、アップデートが必要な場合はダイアログにてお知らせします。

終了時は右上の×ボタンにて終了できます。

### 3. 編集Window

メインWindowを右クリックすることで以下のようなプルダウンメニューが表示されます。



編集を押すことで編集Windowが開きます。

編集Windowを開いている間のみ、コントロールの移動、編集、消去が可能になります。

編集Windowを開いている際はコントロールをドラッグ&ドロップで移動、大きさの変更が可能です。

編集Windowは以下のような画面です。

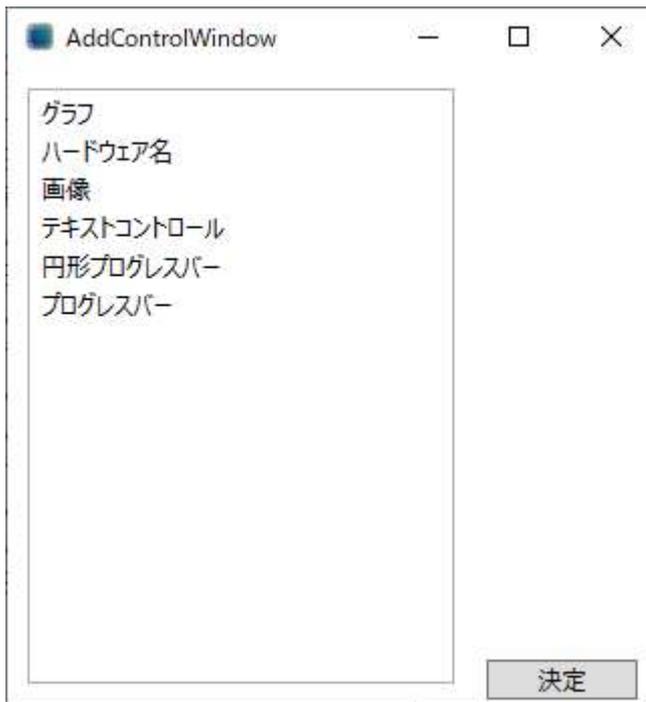


編集Windowは三つの要素で構成されています。

左側の要素はコントロールの管理です。

コントロールを選択した状態で、「上へ」、「下へ」ボタンを押すことでzオーダーを変更することができます

「データの追加」を押すことで、コントロールを選択し、追加することができます



(コントロール選択画面)

コントロールについてはあとで説明します。

真ん中の領域はコントロールごとの設定です。

コントロールの座標、フォント、などを各コントロールごとに設定できます。

左の領域はメインWindowの全体の設定です。

- ・「管理者権限を強制する」をチェックすると、管理者権限で再起動します。管理者権限で再起動することで取得できるデータ量が増えます。
- ・「角を丸くする」をチェックすることで、Windows11のような角丸のWindowにすることができます。
- ・「最前面に表示」をチェックすると、すべてのWindowの一番常に上に行くようになります。
- ・「タスクバーへ非表示」をチェックするとタスクバーから表示されなくなります。
- ・「自動起動」をチェックするとスタートアップへ設定され、起動時に実行されるようになります。別PCにデータを移動した際は適応されません。
- ・「CPUの使用率をWindowにタスクバーに表示」にチェックすることでタスクバーのアイコンに使用率が表示されるようになります。
- ・「固定」をチェックすることでWindowを移動できなくなります。
- ・「縦横比を維持」をチェックすると、Windowのサイズを変更しても縦横比が維持されるようになります。
- ・「サイズに合わせて拡大」をチェックすると縦横比にかかわらずWindowサイズに応じて、それぞれのコントロールのサイズが変わります。

- ・「倍率をもとに戻す」を押すことで縦横の拡大率が100%に戻ります。
- ・「背景色」の横のボタンを押すことで背景色を変更できます
- ・「背景色の透明度」のスライダーバーを動かすことで不透明率を変更できます。100%にすると移動できなくなり可能性があります。
- ・「全体の透明度」のスライダーバーを動かすことで全体の不透明率を変更できます。100%にすると視認できなくなります。
- ・「フォントマネージャ」の横の開くボタンを押すことでフォントマネージャを開きます。フォントマネージャについてはあとから説明します。

#### 4. コントロールについて

コントロールは「データを追加」ボタンで追加できます

コントロールの種類を説明します。

コントロールは大きく分けて2種類に分けられます。

1種類目は値ありのコントロールです

これはCPUから値を取得しているコントロールです。

円形プログレスバーや、プログレスバー、グラフ、テキストコントロールです。

2種類目は値なしのコントロールです。

ハードウェア名、画像です。

値ありのコントロールは

選択時に以下のようなものが真ん中の下に表示されます。

The screenshot shows a control panel with the following elements:

- Hardware information: ハードウェア:AMD Ryzen 5 1600
- Sensor information: センサー:CPU Total | Load
- A "変更" (Change) button.
- A value control interface with:
  - A "値" (Value) input field.
  - Color selection for the foreground: 前面色 透明度 (Front Color Transparency) with a color swatch and a slider.
  - Color selection for the background: 背面色 透明度 (Back Color Transparency) with a color swatch and a slider.
  - "追加" (Add) and "削除" (Delete) buttons.
- A large empty rectangular area on the left, likely a placeholder for a progress bar or graph.

これは値の最大値と最小値、それぞれの値の色を変更できるボードです  
リストボックスの値以上の時の色を指定します。

また、円形プログレスバー、プログレスバーは最大値が100パーセント扱いになります。

追加を押すことで値に応じて色を変えることが可能です。

「変更」ボタンを押すことで値をとるセンサを変更することができます。

ツリービューのWindowが開き黄色のものを選択することで値の変更が可能です。

真ん中の列の上の部分はコントロールの座標と大きさです。ドラッグ & ドロップでも移動、大きさの変更が可能です、こちらでも可能です。

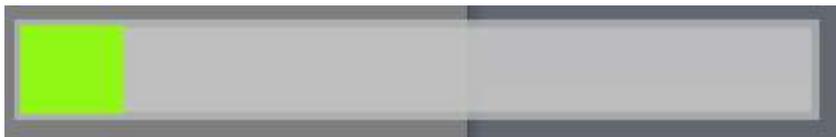
X	285	Width	120
Y	26	Height	120

またそれぞれ個別に設定が設けられています。

## 5. コントロールの説明

### ○プログレスバー

以下のような見た目のコントロールで一般的なプログレスバーです。



これは値コントロールです

### ○円形プログレスバー

以下のような見た目のコントロールです。



値コントロールで、独自項目は太さがあります。

プログレスバーの太さが指定可能です。

### ○テキストコントロール

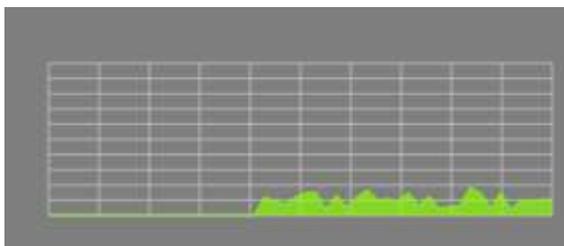


値を単位付きで表示できるコントロールです。

値コントロールでフォントの変更が可能です。

## ○グラフ

以下のようなコントロールでハードウェアの値をグラフにすることができます。



値コントロールです。

独自の設定項目はありません。

## ○ハードウェア名

以下のような見た目のコントロールで、ハードウェア名もしくは任意の文字列を追加できます

**AMD Ryzen 5 1600**

設定は以下のようにになっています。

フォントの項目についてはフォントマネージャと一緒に説明します。

文字色は文字の色を変更でき、

背景色は背景の色を変更できます。

ハードウェア名のラジオボタンを押すことでハードウェアの指定が可能です。

任意の文字列のラジオボタンを押すことで任意の文字列を表示できます。

フォント  サイズ

スタイル  太さ

文字色  透明度

背景色  透明度

ハードウェア名     任意の文字列

▲ DESKTOP-IRDJQV2  
 AMD Ryzen 5 1600  
 NVIDIA GeForce GTX 960  
 ASUS PRIME B450M-A  
 Generic Memory  
 Generic Hard Disk  
 Generic Hard Disk  
 Generic Hard Disk

## ○画像

画像をインストールして表示できます。

- 縦横比を保持しない
- 縦横比を保持し短い方のサイズになります(標準)
- 縦横比を保持し長い方のサイズになります

画像パス

画像のプレビュー

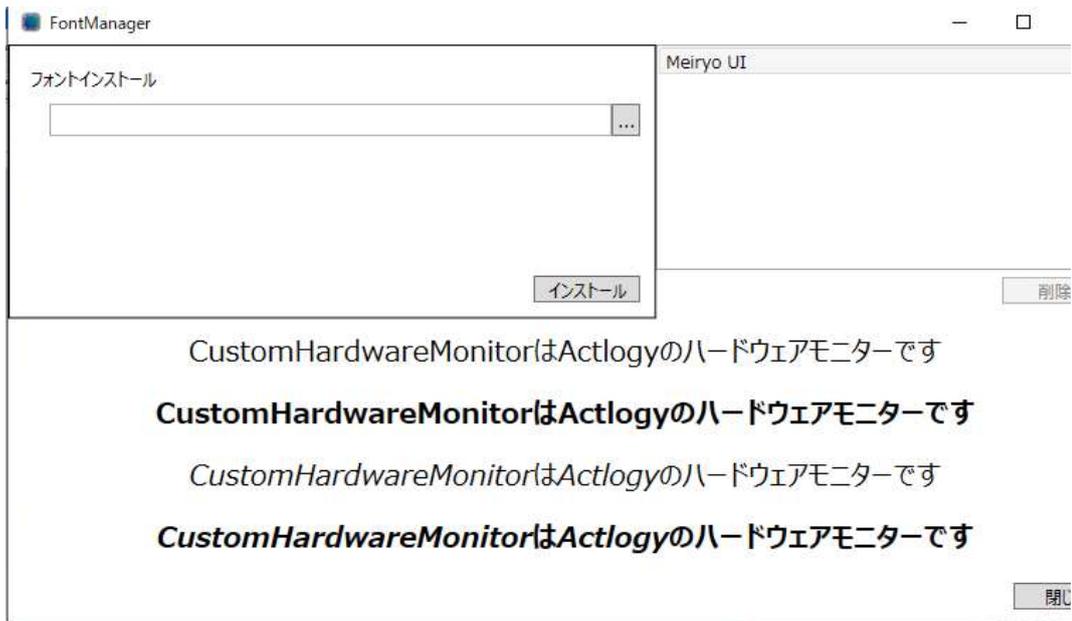
インポート

画像パスを指定してインポートを押すことで表示されます。

写真のバイナリが含まれるようになるのでライセンス等を確認し使用してください。

## 6. フォントマネージャ

フォントを管理するWindowです



左上でパスを指定してインストールを押すことでインストールすることができます。  
 フォントをインストールすると、フォントのバイナリがコピーされ保存データに含まれます。  
 フォントファイルのライセンスを確認の上ご使用ください。  
 左側のリストボックスの選択でフォントのプレビューを見ることができます。  
 システムフォントは互換性のために使うことができません。

フォントが変更可能なコントロールは以下のような設定が表示され、そこで変更可能です。



## 7. ファイル設定について

CustomHardwareMonitorは.cmoni形式で関連付けしてあります。  
 .cmoniファイルは別のPCに持って行ってもCustomHardwareMonitorがインストールし  
 られている環境であれば同じように扱うことが可能です。



右クリックのメニューの新規作成で、任意の場所に.cmoniファイルを作ることができます。  
 ダブルクリックで起動可能です。  
 コピーを作成で、現在起動しているファイルを任意の場所にコピー可能です。

ファイルの不整合を防ぐため、2つ以上Windowを開いている場合は2つ目以降のWindowでは編集できなくなっています。

#### 8. 質問等

質問、不具合要望につきましてはActlogyの  
Twitter(<https://twitter.com/ActlogyOfficial>)  
もしくはメールアドレス([actlogy.official@gmail.com](mailto:actlogy.official@gmail.com))まで